



一般社団法人 日本物流団体連合会  
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013  
東京都千代田区霞が関 3 丁目 3 番 3 号  
全日通霞が関ビル 5 階  
TEL: 03-3593-0139  
FAX: 03-3593-0138  
URL: www.butstryu.or.jp

## News Release

平成 30 年 6 月 20 日

### 「平成 30 年度第 1 回 ユニットロードシステム検討小委員会」を開催

(一社) 日本物流団体連合会(田村修二会長)は、6 月 19 日(火)、平成 30 年度第 1 回ユニットロードシステム検討小委員会(座長: 増井 忠幸氏 東京都市大学 名誉教授)を千代田区的全日通霞が関ビルで開催した。

当小委員会は、これまで、労働力不足、とりわけトラック運転手不足問題への対応策として「ユニットロードの推進」をテーマに、手荷役作業の実態調査アンケートを実施、平成 28 年 9 月にその結果を「トラック幹線輸送における手荷役実態アンケート調査報告書」として公表する等の活動を行ってきた。

今回の小委員会では、農産物の物流効率化を推進することを目指す農林水産省・経済産業省・国土交通省による「農産品物流対策関係省庁連絡会議」の第 6 回会合が 3 月 20 日に開催され、傘下のパレット部会による「農産物の産地から消費地まで一貫したパレチゼーションの実現方策の案」と推進協議会設立が発表されたことを受け、関係施策の進捗状況、パレット部会報告書の内容 等について事務局より説明がなされた。

その後、各委員から農産物のユニットロード化に関し、特に卸売市場における商慣習の課題についての指摘や、パレチゼーションにおける R F I D 活用の現状と期待等についての発言があった。

最後に増井座長より、ユニットロード化の必要性を原点に立ち返り見直し、「現状に即した長期的視点に基き、官民全体で物流業界の改革に取り組んでいく重要性」が力説され、今後も本小委員会の活動を継続し、ユニットロード化による物流全体の効率化促進に向けて引き続き取り組んでいくことが確認された。



(写真: 小委員会風景)



(写真中央: 増井座長)

以上 事務局 新村